

令和5年(2023年)5月18日

# 農作物生育・技術情報1号

日高農業改良普及センター日高西部支所  
JAびらとり JA門別町

## 1 水稲の生育状況 (5月15日現在)

### ●生育状況調査 (中苗：ななつぼし)

区分	草丈 (cm)	葉数 (葉)	茎数 (本/m <sup>2</sup> )	遅速 日数	摘要
R5年	9.7	2.6	—	-1	生育の遅速は平年並
平年値	10.3	2.8	—		
差	-0.6	-0.2			

### (1) 育苗管理

- ① 葉数2.5葉期以降にハウス内温度が25℃を超えると、早期異常出穂（不時出穂）が発生しやすくなるため、育苗後半の温度は高温になりすぎないように管理しましょう。特に成苗ポットは温度上昇しやすいので特に注意が必要です。
- ② 移植時の目標葉数は、成苗（ゆめぴりかで3.6～4.0葉、ななつぼしで3.6～4.3葉）、中苗箱マットは3.1葉から移植しましょう。
- ③ 育苗後半は、降霜、強風に注意し、夜間も解放するなどハウスの換気を十分に行い、苗の充実と硬化に努めましょう。
- ④ やむをえず育苗日数が長くなる場合（成苗、中苗とも、は種から移植までの日数が35日以上になる場合）は、老化苗対策として必要に応じて追肥を行いましょう。

### (2) 移植

- ① 植付深を必ず確認し、深さが1.5～2.0cmになるよう調節し、苗の活着と分けつを促進させましょう。
- ② **活着や分けつの善し悪しは水温に左右され**  
活着限界温度は11～13℃とされています。水温を確保するために入水は夜間から早朝に行い、日中は止水にしてください。
- ③ 低タンパク米生産に向け、栽植密度は中苗25株/m<sup>2</sup>以上、成苗22株/m<sup>2</sup>以上としましょう。

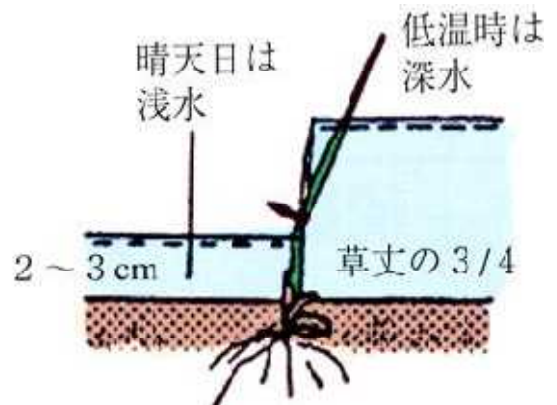


図 水深の目安

## 2 畑作物の栽培管理

- (1) 秋まき小麦の止葉期追肥は粒重、タンパクの充実に重要になります。

### 【施肥窒素量】「ゆめちから」

止葉期追肥量目安：6 kg/10a (硫安30kg/10a)

※上位茎数が900本/m<sup>2</sup>を超える場合 → 4 kg/10a程度に抑える

- (2) 豆類：は種作業

地温10℃以上確保でき、降霜の恐れがなくなったらは種時期です。晩霜に注意し適期は種に努めましょう。

### 3 主要野菜の生育状況と技術対策

○ 気温が高めに推移したため、害虫の発生が早まっています。

○ 生育状況や草勢にあわせた追肥とかん水管理をしましょう。

作物名	生育状況(5月15日現在)	技術対策
トマト	<b>3月定植</b> ・ 1～2段果房収穫中。6～7段開花 ・ かいよう病、葉かび病が一部で見られる。 ・ 着色不良果(黄変果)が見られる。 <b>4月定植</b> ・ 4～5段花房開花中。	・ かいよう病が発生した株は、速やかに抜き取り処分する。 ・ 葉かび病は発生を確認したら速やかに薬剤防除する。この際、薬剤が葉裏に十分かかるよう散布する。
ハウス軟白ねぎ	・ 12月定植収穫中。	・ アザミウマ類の発生に注意する。薬剤は十分かかるよう散布し、ローテーション防除する。 ・ 粘着板を設置しアザミウマ類の早期防除に努める。
ハウス立茎アスパラガス	・ 春芽収穫～立茎移行期。 ・ 一部ほ場でジュウシホシクビナガハムシが見られる。	・ ハウス内外の除草(クボホ、白刈バなど)を徹底する。
かぼちゃ	・ 定植準備～定植中。	・ 地温確保のため、施肥やマルチの被覆は、定植7日前までに行う。 ・ 定植ほ場の地温は、深さ15cm程度で最低15℃以上を確保する。

### 4 牧草生育状況(5月15日現在)

作物名	生育状況			遅速日数	摘要 (作業期節・特記事項)
	項目	R5年	平年		
牧草(苜蓿)	草丈(1番草)	32.4cm	30.7cm	+2	生育は平年並です。

ギシギシの発生状況により、除草剤防除ガイドを遵守して、全面処理または局所処理を行いましょう。

### 5 サイレージ用とうもろこし作業状況(5月15日現在)

作物名	農作業状況			遅速日数	摘要 (作業期節・特記事項)
	項目	R5年	平年		
とうもろこし100日ｸﾗｽ	は種始	5月8日	5月11日	+3	は種作業は平年並です。
	は種期	5月15日	5月17日	+2	

ほ場条件や発生雑草等を把握し、早めに土壌処理、雑草茎葉処理などの用途にあった除草剤を選定し、計画的・適切に使用しまししょう。

#### <代表的なサイレージ用とうもろこし除草剤の使用状況・時期>

商品名	使用方法	使用時期	10aあたり使用量
モーティブ乳剤	土壌処理	は種後～2葉期まで	200～400ml
ゲザプリムフロアブル	土壌処理	は種後～出芽前	100～200ml
	茎葉処理	2～4葉期	100～200ml
ゲザノンゴールド	土壌処理	は種後～出芽前	140～200ml
	雑草茎葉処理	2～4葉期	140～200ml
アルファード液剤	雑草茎葉処理	3～7葉期 (一年生雑草・イチビ含む)	100～150ml
ブルーシアフロアブル	雑草茎葉処理	3～5葉期	40～50ml
		(イチビは6～7葉期)	50～75ml